

2015 年 10 月 18 日 「罪の清算と信仰生活習慣」 石川祐司教会長

本日は、U-ONE NEWS の視聴と石川教会長の説教でした。以下に訓読のみ言を掲載いたします。

<訓読のみ言>

『天聖經』

第七篇 地上生活と霊界 第三章 永生のための地上生活

第二節 霊界に行くための準備期間

19 心と体が一つにならなければ、天国に入っていけません。原理を知ったので、何をして、心が願うとおりに体を強制的に動かして屈服させなければなりません。「宇宙主管を願う前に自己主管を完成せよ!」、これがどれほど難しいか分かりません。この体の主管が難しいのです。サタン世界がそうです。先生はそうに闘いました。そこでは、自分のすべてのもの、国と自分の一族を奪っていき、自分の体まで監獄暮らしをしました。地獄に落ちなければならないというのです。神様が「開拓をなさい」と言えば、地獄まで行って開拓して上がってきてこそ、神様が必要とする人になります。

20 皆さんが熱心に伝道をして苦勞しているのですが、なぜ悪口を言われて迫害されるのでしょうか。それは、心情を失ったので、心情を取り戻すためです。愛を取り戻すためです。そのような人たちを愛することができる人になるためです。皆さんがこのような訓練課程を経なければ、いくら天の人になろうとしてもなれません。

言い換えれば、サタン世界以上の愛を、自分が見つけなければなりません。そうでなければ、天国に行けません。愛の人になって天国に行こうとしているのです。愛の人になって天国に行こうとする人が、天国に行くのです。その時、神様が審判主になり、イエス様が審判主になり、先生が審判主になるでしょう。ですから、実践しなければなりません。これが私たちの当面の課題です。神様の法として指示された課題であり命令だというのです。

25 自分の体が完全に勝利したということは、サタンまでも完全にその根を抜いて征服したということです。天国には、サタンを征服してこそ行くことができます。サタンに勝つことは、肉身を脱いではできません。肉身が地で事故を起こしたので、直すのも肉身をもって、地上で直さなければなりません。地上ですべきことをすべてできなければ、永遠に地獄に行きます。ですから、地上で勝利して天の側の善の立場に立つようになれば、永遠に天国に行くのです。

26 人類の先祖が真の父母になれなかったことによって、ゆがんだ罪惡の結果、真の民族と真の国家と真の世界を形成することができず、それにより神様と人類の前にゆがんだ罪状が残っています。このような罪状に対して、誰が責任を負うのかという問題が残っているのです。霊界に行った人々は、地上で犯した罪を霊界では解決できません。地上で、その誰かがこの責任を担ってくれなければ、霊界に行った人々は解放されません。地上に生きている

万民が天国に行くためには、その犯した罪を清算しなければならないのです。

それでは、地上人が歴史を代表してゆがめた罪を、誰が清算しなければならないでしょうか。その誰かが、ある宗教が、ある団体がすべきこのような使命を、今日この地上の宗教と民は知らず、唯一それを知っているところは統一教会しかいないので、知っている者が責任を負わなければならないということです。